



家族交流会通信

水海道厚生病院
家族交流会委員会

令和4年2月発行

東風が吹き、甘酸っぱい梅の香りが春を知らせる季節となりました。皆様にはご壮健のこととお慶び申し上げます。これまで家族交流会委員会では、年4回にわたり家族交流会を開催して参りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、昨年より開催を延期させていただいております。つきましては、家族交流会の開催が可能となるまでの間、情報提供の手段として通信を発行することとなりました。皆様のご参考になりましたら幸いです。



河合院長挨拶

皆さま、本年もよろしくお願いいたします。“新型コロナウイルス感染症”が全世界に蔓延して、丸2年が過ぎました。当院では入院中、および外来通院中の患者様が、当院内でこの感染症に罹患してしまうことがないように、今日まで全力で感染対策に取り組んでまいりました。そのため患者様やそのご家族様には多大なるご不便をおかけしています。おかげさまで、これまで当院内での新型コロナウイルス感染の蔓延を、どうにか防ぐことができています。ご協力いただいてまいりました皆様方には、心より感謝申し上げます。

さて、昨年秋から暮れにかけて一旦は落ち着いたかにみえたこの感染症ですが、“オミクロン株”と呼ばれる新たな変異ウイルスが「あっ!」という間に国内でも蔓延しはじめ、「第六波」の襲来が強く懸念されています。これに対しわが国では、政府主導による第3回目のワクチン接種がはじまっており、当院でも全力を挙げて速やかなワクチン接種のための体制を整えているところです。

今回の“新型コロナ”騒動の中で、あらためて気付かされたことがあります。それは、人と人が直接会って、一緒に食事をしたり、話したり、笑ったりすることの大切さです。そうした機会が失われることで、どれほど人生がつまらなくなるか、どれほど人の心に悪い影響を与えることか……。外泊や面会を制限することが、入院患者様にとってどれほど悲しく辛いことか、そのことの重大さを常に胸に抱きつつ、一日も早い社会の正常化を祈りながら、日々の診療に邁進してまいる所存です。

今後ともどうぞご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



《面会について》

新型コロナウイルスによる感染拡大が、一時はこのまま収束するものと思われましたが、海外そして国内で、『オミクロン株』と呼ばれる新しい新型コロナウイルス株の感染が拡大しています。

幸いにして、当院内では、新型コロナウイルスによる感染症を1人も出すことなく経過しています。これもひとえに患者様・ご家族様のご理解とご協力のたまものであると実感いたしております。

さて、約2年間にわたり、制限させていただきました面会ですが、対面による面会を、令和3年10月18日より条件付きで開始させていただきました。しかし、令和4年になり全国各地で感染者の急増が見られ、1月11日より対面による面会を一旦中止することとなりました。リモート面会は予約制で今後も継続させていただきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

前述のとおり、新型コロナウイルスの勢力は計り知れません。再び半年前のような感染爆発が起こらないとも限りません。また、ワクチンを接種された方も感染する、いわゆる『ブレイクスルー感染』も、オミクロン株では、60パーセントに上るという研究結果が報告されています。どうか、ご家族の皆さん、入院患者様の安全を第一に考え、感染対策を進めていきましょう。よろしくお願いいたします。

看護部長 渡辺利之

《知っ得情報!》

【わおんグループホーム守谷】

令和3年2月、守谷市内にグループホームを開設。12月現在、同市内に計5棟〔百合ヶ丘・薬師台・松ヶ丘・けやき台・松前台〕障がい者グループホーム（男女別）を運営しています。

【特色】

一軒家を利用した共同生活の中で、入居される方々の自立性や社交性の向上を目指したグループホームになります。各棟が、公共交通機関の利用や買い物に便利な住宅地エリアに立地しています。

◇ペット共生型グループホーム

わおんグループホーム守谷では、それぞれの棟で、保護犬もしくは保護猫をお預かりしております。動物とふれあい、一緒に暮らすことで動物介在療法（アニマルセラピー）の効果（心理的效果・生理的效果・社会的効果）があると検証されています

◇24時間体制、看護師常勤によるサポート

夜間帯を含む24時間体制でスタッフが常駐、入居者様に合わせたサポートをしています。看護師が常勤しているため、日々の健康管理や相談対応も安心できる環境です。

◇定期的な交流会

交流会や外出など、定期的にみんなで楽しむことができるイベントを開催しております。

お問い合わせ

株式会社アクセット TEL 0297-28-1351

担当：飯塚



《コミュニティカフェひろば》



デイケアセンター「プラム」では、社会復帰を意識したプログラムの一つとして毎週月曜日に「マルシェ準備」というプログラムを行っています。つまり細工やニードルフェルトを使用した季節の商品、ポーチ、

ビーズ商品など様々な商品の製作を通して作業能力の向上を目指し、販売を通して対人交流を図り、自信を獲得することなどを目的としています。

コロナ禍のため、昨年は病院内でスタッフ向け無人販売を行っていましたが、商品をより多くの方に知ってもらうために地域での販売も検討し、2020年7月より常総市の「コミュニティカフェひろば」にて商品販売も行い始めました。20個ある棚の中から、右側の下の方の棚1つをお借りして商品を毎月納品しています。何を納品するかなどもメンバーと一緒に考え、どうしたらもっともらえるか、売れるかなど考えてレイアウトしています。納品の際には他の棚も拝見し、良い刺激をもらい、次の商品製作へのモチベーションアップにも繋がっています。

「コミュニティカフェひろば」には雑貨商品の展示販売以外にも種類豊富なドリンクやランチが味わえたり、フリースペースにて 1 日500円(ワンドリンク付)で Free Wi-Fi が使えたり、生活相談支援を行っていたりと様々な取り組みを行っています。また様々な資格を持つスタッフが気さくに話しかけてくれるため、元気もいただけると思います。来店するメリットは多々あると思うので、ぜひ一度足を運んでみて下さい。そして気に入った商品がありましたら、ぜひご購入下さい。よろしくお願いします。

詳細はパンフレットを御覧ください。

《商品紹介》

